

第9回 成瀬小学校新たな学校づくり基本計画推進協議会 議事要旨

開催日時	2025年2月4日（火） 9：30～10：56	
開催場所	町田市立南成瀬小学校 2階 図書室（ウェブ会議併用）	
出席者 （敬称略）	委員	尾上委員、鈴木委員、福土委員、岩澤委員、中村委員、沖委員、赤澤委員、後藤委員、森本委員、○隅田委員、◎吉成委員、遠藤委員（◎会長 ○副会長）
	事務局	教育総務課、新たな学校づくり推進課、施設課、学務課、保健給食課、指導課、教育センター
傍聴者	1名	

議事内容（敬称略）

1 第8回推進協議会の振り返りについて

新たな学校推進課 （資料1説明）

2 報告事項

（1）成瀬小学校の開校に向けて

委員 （資料2-1-1説明）

委員 （資料2-1-2説明）

新たな学校推進課 （資料2-1-3説明）

委員 資料2-1-2の今後の予定の◎について、南二小の安全委員会とはどのようなものか。

委員 安全委員会は、校内の分掌組織とは別で、規約はないが、学校、PTAの安全担当、実際に見守りをしてくださっている呼びかけ隊の方、町田警察署の交通安全指導の担当の方など、実際に子どもたちの安全に直結している方と、学期に1度、学校で1時間程度、子どもの通学の様子や放課後の様子で気になる部分についての情報共有をしている、少し緩やかな組織である。それを踏まえ、必要に応じて全体指導や、学級での指導に生かしている。

統合に関連し、通学路が変わることで今立っていただいている箇所が本当に妥当なのかどうかの見直しを3月12日に行う。見守っていただく方の数が相当少ないため、今後どうやって裾野を広げていくか、学校としても、チラシの配布等を行っているが、なかなかそれだけではうまくいかないため、ここに集まっている皆さんの人脈等も使いながら呼びかけをしっかりと広げ、メンバーを増やしていきたい。また、見守り箇所の分担を今後の大きな目的として話し合っていく。

委員 ぜひこの安全委員会等の活動を今後も生かしていけたらいいと思う。

委員 私もそのように思っている。統合後も、ぜひ皆様のご協力の下、発展させていきたい。どうぞよろしくお願ひしたい。

委員 今回の次第に直接関係があるわけではないが、資料2-1-2のシミュレーショ

ンの結果を踏まえた主な課題と対策の中の熱中症の心配について、休憩施設の設定というところに関連するかと思うが、検討会や昨年度の協議会の中で、新校の設備をどうするかという話があったかと思う。それについて、冷水器を学校に設置してほしいという声が保護者の中から出ていた。これまで特に検討する場面がなかったと思うが、この場でそういった意見があったことをお伝えしたい。南成瀬中学校では、水道に直接、水を冷たくするという目的でつけるタイプの冷水器が設置されているそう。メンテナンスもほとんどする必要がなく、使い勝手がよさそうだったため、そういうものを導入している町田市内の学校があるということも含めて検討していただけるとありがたい。

新たな学校推進課 検討会の際にご意見をいただいたが、引き続きご意見をいただきながら施設整備を進めていきたい。第7回推進協議会で契約が決まったことをご報告させていただいたが、要求水準書に基づいて事業者から提案いただき、設計を進めている。要求水準書に冷水器は入れており、各教室になど、そこまで細かくはないが、学校の中に設置してほしいという要求はしている。そういった点で、ご意見をいただいたものは反映しながら進めさせていただいている。

また、通学については、シミュレーションの中でも熱中症の心配があり、なるせ駅前市民センターでお話をさせていただいた保護者の方もいらっしやると伺っている。コミュニティセンターや駅前市民センターなどの公共施設にはお声がけをさせていただき、クーリングシェルターという形で、子どもたちの逃げ場として利用させていただきたいというお話をさせていただいている。4月以降も新しい課題が出てくると思うが、引き続き対応していきたいと考えている。

(2) 新たな小学校への歴史の継承及び引越しについて

新たな学校推進課 (資料2-2説明)

(3) 新たな学校づくりを踏まえたこれからの学校を考える授業の実施について

新たな学校推進課 (資料2-3説明)

(4) 新たな学校づくりに関する取組内容等と2024年度における事業到達目標について

新たな学校推進課 (資料2-4説明)

※2024年度末の確認として、2025年3月31日時点で完了する見込みの取組については、全て「完了しました」と表記としています。

委員

保護者組織の部分について、少し補足をさせていただきたい。新校の部分は準備会、現本部を閉める部分は現本部という役割分担で準備会を立ち上げた。上下がないような、両方の組織が同じ立場で活動しており、情報共有もしている。

南二小の現本部は、先日、会計監査が終わり、口座を閉じることができた。物の財産を南成小の保護者組織と一緒にどのように処分していくか、寄贈するかなどを決

めている。

南二小で閉校に関する南二小記念品というものを全児童に配ることにした。2つあり、1つは防犯ブザー。ライトもつくようになっており、不審者だけでなく、災害にも対応できるよう、1人1つブザーを用意している。

次に、マイクロファイバークロスというものを児童に配る。クロームブックや、家庭から持たされているスマホなどをきれいにできるようにと思っている。学校から、名前が書けるようにと言われているため、名前が書ける部分を特に重点的にデザインした。閉校イベントでバルーンリリースをしたが、その際の写真をプリントしている。

閉校式典が13日にあるため、そちらで全児童に配ることができるよう手配をしている。

委員

本部はこの場にはいないが、サポート役として把握しているため、閉校の記念品について少しお話しさせていただきたい。

南成瀬小学校は周年イベントが先月末に行われたばかりであり、口座を閉めるに当たっての残金がやっと確定した。もともと周年、閉校の記念品で用意していたものとは別に、南成瀬小学校のキャラクター、なるせみを使ったトートバッグを作ることを検討している。その中に、周年、閉校の記念品なども全てまとめた状態でプレゼントという形で、6年生は卒業式当日、在校生に関しては修了式の日に渡せるように準備を進めている。なるべく残金を残さないように進めている。

(5) その他報告

新たな学校推進課 (資料2-5説明)

【学校教育部長挨拶】

学校教育部長

本日は、2024年度最後であり、南第二小学校と南成瀬小学校の統合前の最後の協議会となっている。これまで皆様方と一緒に準備を進めてきた成瀬小学校がいよいよこの4月に開校する。統合に当たり、2022年1月から全12回の新たな学校づくり基本計画検討会での話し合い、そして、本協議会においては2023年5月から2か年にわたって、通学路など様々な事項について具体的な検討を行っていただいた。その結果、2025年度に向けての通学路案や成瀬小学校の校歌、校章が決定するなど、成瀬小学校の開校を迎えるための準備ができた。改めてお礼を申し上げます。

11月の協議会でも説明させていただいたとおり、これからの町田市の新たな学校づくりは、地域活用型学校と称し、学校教育の場や身近な避難施設としてはもちろん、地域の活動拠点とすることを考えている。このような地域の活動拠点などは、実際には2028年度の新校舎が開校してからになるが、いよいよ来年度、2025年4月からは、皆さんで検討していただいた両校が統合した1つの小学校がどう進んでいくか、うまく進まなければ色々な手直しも必要になるかと思う。協議会委員の皆様においては、この2028年の新校舎開校に向け、また、町田市内における地域活用型

学校の先駆けとして、今後ご意見を頂戴できればと思っている。引き続き、皆様のご協力を重ねてお願い申し上げ、お礼とさせていただきます。

3 協議事項

(1) 2025年度以降の新たな学校づくりの推進体制について

新たな学校推進課 (資料3説明)

委員 検討会から始まった推進協議会までの流れの中で、新しい学校の全体的な大掴みなスタイルから始まり、だんだん個別具体的な内容について、皆さんの貴重なご意見や知恵が集められ、学校のイメージがいよいよというところまで出来上がってきたことを本当にありがたく思っている。私もそこに微力ながら携われたことを本当に光栄に思っている。

今後の流れに関する今の提案について、私も学運協に基本的に機能を移譲していくということが妥当ではないかと思っている。幾つか理由があるが、まず、ここでの温度感を、今度は実際に新しい学校になるため、日々の学校経営、そしてコミュニティスクールとしての学運協の機能というものを一体化し、実現していくこと、それを常に検証していくことが大事になってくる。そういったときに、複線化していくのではなく、基本的には、学運協の皆さんに、これからの組織の新しい学校の在り方について検証していただくのが一番妥当ではないかと思う。

というのも、来年度に関しては移行期間という提案になっているが、両校から同数、特例的に少し多めの委員が選ばれると伺っている。今後、具体的にどなたかということになっていくと思うが、おそらく全てが新しい方ではなく、これまでの流れ、両校の運営のことをご存知の方々が推薦されると思う。それに加え、その中の多くの方がこの会にも籍を置いてくださっているということを考えて際、十分に、新しい学校の学運協が、これまでの流れを踏まえているうえ、日々の学校教育の動きに関しても造詣深くご検討いただけるため、一番ふさわしい形ではないかと思っている。移行措置といいながらも、軸足は来年度のうちに学運協のほうにウエートを置けるのではないかと私は見通している。

そのため、提案に賛同の1票を投じさせていただきます。

会長 いよいよ始まってからは学校主体というところで、学運協が考えていく母体になればというところだと思う。うなずいている方もいるが、ほかの方はどうか。

新たな学校推進課 事務局から1点補足をさせていただきます。方向性として学運協に移行する中で、整理しなければいけない部分もあると思う。例えば会議の運営のスタイルとして、公開とするかどうかなど。そういった課題整理なども来年度の検討の中で並行して行い、学運協へスムーズに移行できるようにと考えている。そういった視点も含めて何かご意見があればお願いしたい。

委員 (特になし。)

会長 ご提案の内容の方向性で次年度は推進協議会を開催する形で進めていくということではないか。

委員 (異議なし。)
会長 詳細は新年度改めてご相談、お知らせをさせていただきます。

4 委員挨拶

委員 この1年間、私もまだ会長1年目、成瀬まつりの役員としても1年目ということもあり、地域の学校との関わりというところで、本当に大きく視野を広げさせていただいたと感じている。今後も、しっかり地域の子どもたちが安心して学べる環境、また、地域の住民の方が安心して学校とともに地域をよくしていく流れをつくっていければと思う。どうぞよろしくをお願いしたい。

委員 会議に出てもついていくのが大変で、昔の考えもあり、なかなか難しいところもあった。しかし、いずれにしても、本当にすばらしい会合で、いろいろな常識、知恵をいただいた。新しく成瀬小学校になるが、その学校から未来の人材が、大人材が輩出されることを祈っている。

委員 検討会から関わらせていただき、3年間、皆様とご一緒してきた。地域の方々の気持ちや歴史を考えると、統合はとても大変なことだという思いからスタートしたが、この3年間、丁寧に話し合いを進めていただき、今ではもうすぐ統合、というところにご着けられたと思っている。

私は、最初から、統合は児童や保護者のことが大事だと思っていたが、この会で保護者の方のお話を伺い、気持ちを共有することができる機会になり、とてもありがたいと思っている。

児童については、突然のことで不安なこともあったと思うが、先生方がお忙しい中で一生懸命交流の機会をつくり、子どもたちの心のケアを十分にさせていただけたと思っている。

私は本当に南成瀬小学校が大好きであり、先日、子どもたちの集会で45周年のお誕生日会と閉校集会があったが、子どもたちの様子を見てると涙が出てきそうなぐらい感激した。寂しいという気持ちもあったが、その後すぐに交流授業の様子を拝見し、先生方が本当に一生懸命やっていた。交流というのは、みんなが明るく元気で過ごせるような時間を一緒につくっていくこと、と考えながらやってくださっている。子どもたちは明るく元気に輝いていた。それにより、これは大丈夫だなと感じた。そんな時間をお忙しい中でつくっていただいた先生方にも、学校にも感謝している。統合後は、いろいろなことがあると思うが、みんなで臨機応変に何とか工夫して、協力してやっていけたらと思っている。

これからもどうぞよろしくをお願いしたい。

委員 3人の子どもが卒業して以来、小学校とはほとんど無縁だったが、この2年間、皆様と一緒に関わらせていただき本当によかった。

委員 この統合の話を聞いた際、人口が増えている間は発展的に新しい学校をつくることができていたが、人口が少なくなっているという話をいろいろ聞き、これはもう仕方がないと思った。

しかし、これから統合して結論が出るのはまだまだ先の話だと思う。これまで学校の関係者の方も大変な苦勞をされたと思うが、これからであるため、これからもよろしくお願ひしたい。

委員

自分は本年度からの参加であり、分からないことだらけで、皆さんにご迷惑をおかけしたと思っている。南成瀬小学校は、2月10日に閉校式典がある。その後、一気に引っ越しの作業となり、まだまだ忙しいが、頑張っていきたいと思う。

今後よろしくお願ひしたい。

委員

去年までの私は統合するのか、くらいの気持ちで、あまり中身に興味がないというのが正直なところだった。しかし、実際に会議の中に入り、たくさんの方たちが子どもたちのことを一番に考え、いろいろなことに尽力してくださっていることに、保護者として改めてお礼を言いたい。

活動はこれからも続くと思う。私も、まだ子どもが2年生であり、学校にはしばらくいるため、何かあれば協力していきたい。どうぞよろしくお願ひしたい。

委員

3年間、統合を進める会議に出席をさせていただき、本当に人生のいい経験になった。学校との連携や地域との関わりが本当に大切だということはこの3年間で強く感じた。

私には南二小を卒業した子どもがおり、卒業した友達もいるが、そういう意味でも、南二小が好きな方を多く知っている。その方たちの声を検討会や推進協議会で伝えられたことは、とてもいい機会だったと思っている。いろいろ聞き入れ、検討していただき、感謝している。

先日の成人の会で南二小を卒業した子の保護者の方と会った際、どうなっていくのか心配だという声に、明るい未来だという話をすると、心配事ばかりではない、と言われたのが印象的だった。2025年度から子どもたちは新しい学校に通うため、地域の方も、卒業生も、児童も、不安なく過ごすことができればいいということ伝えていくことが私の任務だと思い、これからも生きていこうと思っている。

委員

1年委員をやらせていただき、本当に何も分からない状態で、何もできず申し訳なかった。地域の方や皆さんが新しい学校に向けていろいろ考えて協議してくださっていたことにとても感謝している。

子どもが来年4年生であり、まだまだ学校にいるため、何か協力できることがあれば、今後ともよろしくお願ひしたい。

委員

私はコロナ禍で子どもを幼稚園に通わせていたため、小学校生活でこんなに濃い時間を過ごせるとは思っていなかった。当初は、保護者組織について何も知識がなかったが、つい先日、校内で事務仕事をしていた際に子どもに声をかけられ、卒業式や閉校式には来るのかと聞かれた。理由を聞くと、いろいろ出入りしている大人が増え、この1年学校に大人がいっぱいいるととても感じたが、その大人の中で一番身近な大人だと言われた。これが、私が3年間やってきたことの集大成だと思った。これからも引き続き、保護者でも先生でもなく、子どもたちにとって一番身近な大人としてそばにすることが、いろいろと状況が変わっていく中で、子どもたちにと

って1個の変わらないものになると思った。

ここまで来られたのも、一緒に3年間活動して下さった方とのご縁や、教育委員会の皆様のおかげだと思う。

今後も何かできることがあれば、よろしくお願ひしたい。

委員

本当に長い間、皆さんと一緒に新しい学校の姿を形にしていく場に参加し、皆さんが心の底から思いをぶつけて下さったことが、私にとって本当にありがたいことだった。何より、学校に対して、地域の皆さんや保護者の皆さんがこれだけの思いを常日頃から持っているということを、改めて、ずしりと重く受け止める機会という意味でも、本当に感謝をしている。

今日、よかったという気持ちには、正直ならない。4月からの形がある程度出来上がったことは喜ばしいが、子どもたちがこの統合によって不便を強いられることや、負担を強いられることは絶対に避けなければいけない。ましてや、危険、リスクを抱えたままこの統合が進むということは絶対に避けなければいけない。そのために、残された2か月、それ以降もやらなくてはならないことが多々ある。

市も一生懸命やっているため、一層のご支援、ご協力を、特に地域、保護者の皆さんに、具体的には見守り等の形でお願ひをしたい。そして、子どもたちが新しい学校になってよかったと心の底から思え、保護者の方々にも安心していただけるような形を、追求し続けていきたい。南成瀬小学校の皆さんにおいては、今年度は大きな通学路の変更はないが、3年後、今、南二小の子どもや保護者の皆さんが感じていることと同じことをおそらく感じるようになると思う。その際、決して、今経験していることが無駄にならないよう、役に立つような形で引き継げるようにと思っている。

委員

私自身も子どもたちにとっても閉校、統合というのは初めてのことであり、いろいろな経験をさせていただいた。道筋をつくったのは教育委員会新たな学校づくり推進課の皆様であり、本当にいつも頼りにさせていただき、いろいろ相談にも乗っていただいた。

子どもたちも、教職員も全員が転校、異動となる。新しい環境になり、不安や期待などいろいろあると思うが、全員が転校生であるため、うまくやってくれるといいなと思っている。

この2年間、私がやってこられたのは、皆さんがいろいろと支えてくれたおかげであり、教育委員会の皆様、地域の皆様の温かさや協力体制が本当に力になった。南二小の皆さんとも相談して進めてきたため、皆さんでやっていくということが前に進む原動力になると思っている。いろいろ形は変わっていくが、協力し合って前に進むということが続けていきたい。

今後とも、ご協力をお願ひしたい。